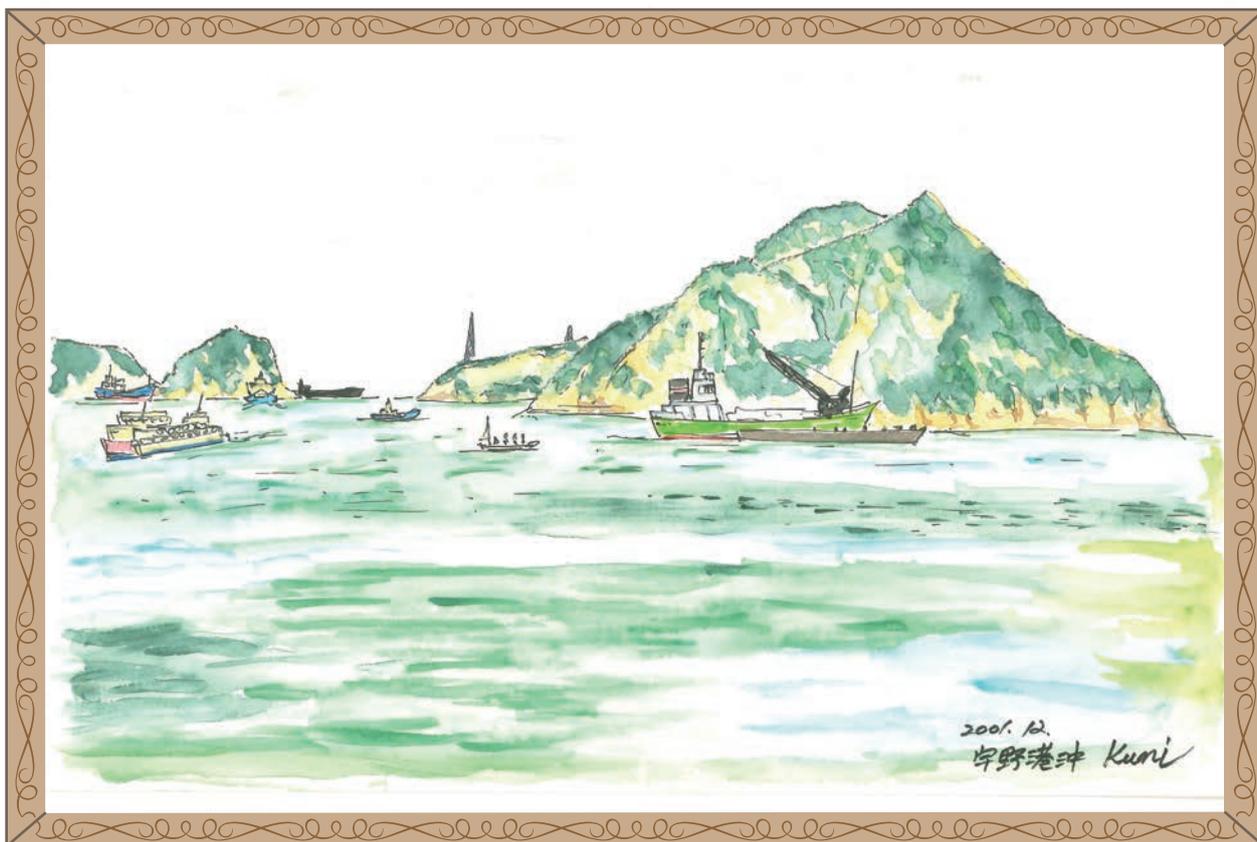




# 岡山からの電話

086-245-4343

相談電話 24時間いつでも シミジミ



目次	
・ 講演抄録	目次 ..... 1
「再考 ”いじめ”」	講演紹介 ..... 2~4
・ 相談員募集始まります。	理事紹介 ..... 5
	第39期相談員募集要項 ..... 6
	半期活動報告 ..... 7
	資金ボランティアのお願い ..... 8

## 岡山いのちの電話市民公開講座「こころの力」

2021年8月15日(日)14:00~16:00

ピュアリティまきび



# 再考 “いじめ”

藤井和郎氏

(吉備国際大学心理学部教授、元総社市立総社西中学校校長)

### 初めての「いじめ」事件

中学校の校内暴力全盛期、「先生が生徒に殴られ骨折」がニュースになっていた時代、大卒後最初に中学1年生の担任になりました。その1年目になんかおかしい、なんか変なことが起きているなど感じることもありました。いじめでした。当時、先生方と色々な相談をしながら、胃が痛くなるくらい大変でしたが、子ども達に関わりながら、なんとか解決できました。2年目も別のいじめが起きましたが、私は1年目の経験があり、早くから気付きそのクラスでは比較的早く解消できました。この事を全国大会で発表しましたが、注目はされませんでした。しかし今後、もっと増えるのではと考え月刊誌「特別活動研究」に実際のいじめケースについて載せ「いじめ問題を放置していたら、不登校や反社会的行動、ついには自殺ということも考えられる」と警告しました。同じ年に埼玉の中1生徒の自殺事件が起こり、私も「いじめ問題」の重さを改めて認識したのです。

平成6年、生徒指導主事として総社市内の中学校勤務の時、市内の中学校で当時3年生生徒が「いじめられた」というメモを残し自殺するという事件が起きました。その中学校は大変だったと思います。翌年でしたか、生徒のご両親が市の教育委員会に対し、二度とこんなことが起こらないよう責任をもっていじめ防止の冊子を作ってほしいと要望されま

した。市内4中学校の生徒指導主事が集められ、ご両親の意見を頂きながら、「いじめをなくすために」という冊子を作成しました。最初の部分で、自殺に至った経緯を明らかにし、こういうことが起こらないよう気を付けることを説明しています。改訂が重ねられ、今は第7版ですが、改訂版には「ネットいじめ」も含まれています。

教員退職後、1年間家庭相談員をしました。学校からの虐待通告により児童相談所と連携して動き、保護者ともいろいろ話をします。虐待が起きての対応より虐待予防の取り組みが多かったように思います。その経験から改めて「虐待といじめ」について考えてみましょう。

### いじめの対応

いじめの対応で最も大切なことはいじめられた子つまり被害者を守ることです。その考え方はいじめられた子に非はないということです。どんなこともいじめの理由にはなりません、これが大前提です。いじめがなくならないのはいじめの子がいるからです。すべてはいじめる側から始まる。同級生を箱に閉じ込めたり、障害のある生徒をからかったりしたことを反省せず語っていたとの報道を覚えていますか。いじめの加害者が反省せず面白半分に語るようなことが繰り返されると、いじめはなくならない。

次の4つの事例について、いじめと思われ

るか、思われないか考えてみてください。

1つ目、授業の時に教師が発表を指名し、その子が発表しようとするその瞬間、周りの子が一斉に頬杖をする。2つ目、ある子が給食当番でジャムを配ろうとしたら、他の子はいいよいよと順に自分の机に持ち帰る。3つ目プリント配布、前から後ろに回す途中、生徒が突然指でつまんで回す。4つ目、数学の授業で板書を指名したところ、その子はぐるっと回って、途中で他の子に話しかけ、板書した帰りもまた同じ子に話しかけ、自席に戻る。実はこれ全部私が教師1年目に経験したいじめです。1つ目は頬杖ではなく耳を塞いでその子の声を聴かないという、複数で行われる遊び半分のいじめ。2つ目の給食のジャムですが、その子が触ったものは汚いから触らせないで自分たちで取る行為。3つ目はその子から受け取った物は汚いとして回す。4つ目はわかりにくいですが、いじめられている子の座席側を通るのが嫌と大回りをする。そのとき、私が思ったのは「あれ??」なんです。いろいろ調べて、その子がいじめられていたと分かりました。私が今、育てている大学生によく言うのは違和感を大切にしながら、なんかおかしいなどの違和感覚はいじめかもと話しています。

### 職場のいじめ

昔日本には村八分というものがありました。それはいじめでの無視と同じ性質です。今、職場でもいろんなハラスメントがあります。例えば、口をきかない、連絡をしない、話の輪にいれない、噂をながす、人前で罵倒、罪人扱い、性的な話題で嫌がらせ、嫌がる仕事をさせる、都合を無視する、いつも叱られる、閑職につかせる、すべていじめです。

小学校での激辛カレー事件。40代A先生がボス的な人でBCD3人に命令し、被害教員をいじめていたという報道でした。後に、A先生はボス的な存在ではないと分かりました。周囲の先生からは加害者と被害者の先生は非常に仲良く見えた一方で、じゃれ方がマナー違反と感じていた教員もいました。加害教員

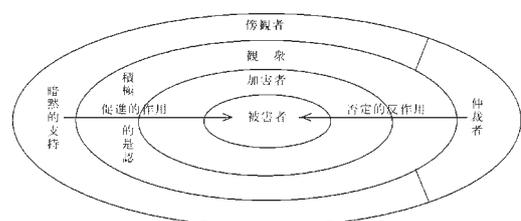
の言動と動機は結局、弱いものをいじることによって笑いを取るという、根深い典型的ないじめの心理そのものです。いじりもいじめですし、いじめの出発点です。いじられキャラというのは本当にいじられたいからではなく、仲間はずしされる不安からいじられているのです。

### いじめの四層構造

いじめは、加害者被害者の2者関係だけでなく、その周りの面白がって見ている観衆、見て見ぬふりをしている傍観者の四層構造が密接にからまった集団全体の中で起こる、とされています。A B先生は最初から加害者です。C D先生は最初観衆だったが加害に加わっていった。他の先生方は傍観者というわけです。

四層構造の中で、傍観者の中から仲裁者がたまに出てきます。仲裁者が「やめなさい」と言ったときに周りの傍観者が「やめてやれ」と仲裁者の後押しをする集団だったらいじめは収まっていきます。ところが、仲裁者がやめるように言っても周りが恐れて無反応でいると、加害者が仲裁者に対し「今度はお前をいじめてやるぞ」となっていきます。

学校で仲裁が上手くいくためには教員の計画的な支援が必要です。陰に隠れて、被害者を支えるのは当然ですが、私が実際にやったのは他の先生に相談して、いろんな意見をもらい、まず傍観者の人たちを仲裁者にまわすことです。次には、この観衆の人達を一人ずつ呼んで聞きます。最初の内は知らないと言いますが、話しをする内に結局観衆が仲裁者になってきます。残っているのは加害者への指導ですが、これが難しいのです。いじめ加害者に対して指導する、叱る、反省させ、誤らせるというのは再発予防にはなりません。



## いじめと教師

いじめられる教師もいます。例えば学級崩壊した担任、子どもから無視される教師。しかし問題なのは無意識の内にいじめ加害者になる教師です。気づいていない苦手意識かもしれないかもしれませんが、教師が無意識にある子どもを排除または拒否をすると、他の子ども達にあの子に冷たくしてよいというメッセージが伝わり、いじめのきっかけを作ってしまう。それは何気ない教師の言葉や身振り、ほめることもいじめのきっかけになり得ます。

1986年、教師がいじめに加担した葬式ごっこが自殺につながったという信じられない事件がありました。先日「元同級生35年目の告白」というTV放送があり、被害生徒から「おまえ書いたの、これ…友達だと思っていたのに信じられねー」と言われた言葉だけは忘れられないと元同級生が告白していました。「あの言葉は消せない。自分で自分を責めている。いじめをすると人生破滅する。いじめに加担したら必ず自分に返ってくる」と。

## 虐待といじめの関連

虐待が増えているということは皆さん報道でご存じだと思います。虐待がなくならないのは虐待をする人がいるからです。虐待を相談したい親には「愛の鞭ゼロ作戦」「子育てのなやみ#189」など色んな支援があるのです。虐待の世代間連鎖という言葉もありますが実際は子ども時代に虐待を受けた親の3人に2人は子どもを虐待していない。小児科学会が出している虐待といじめ関連の調査では、親しい友人や親戚がおらず孤立した生活を送っている親に虐待がしばしばみられる。母親の虐待背景は自身がDV被害者、夫婦仲が悪い、経済的困窮、望まぬ妊娠、育てにくい子、子供への過度な依存などです。この逆を目指して親を支援し、置かれている環境などをしっかり理解していくことが大切になります。今の人間関係がよければ、虐待をしなくてすむわけです。東京都精神医学総合研究所の研究でも、いじめと虐待の関連性について、過去一箇月以内に同居の大人から虐待を受けた生

徒はそうでない生徒に比べていじめ加害体験リスクは被害体験リスクより6倍も高いという研究結果が出ています。つまり、虐待予防の取り組みは長期的な意味で学校におけるいじめ予防の営みであると思います。そして、いじめ加害者のこころのケアがいじめ再発予防につながるということがポイントです。

## 将来に向けての取り組み

私の学級担任最後は中学校1年生で、クラスにいじめる子といじめられる子がいました。いじめられる子のケアもして、その子の話をしっかり聴いて関わっていきました。結果的にその子がいじめられているという気持ちがほとんどなくなって、悪口も受け流すことができました。逆にいじめる子には家庭的な要因があり、その子なりにすごく寂しい環境でした。家でも学校でも寂しい、それがいじめにつながっていく。その子に関わっていく中で、家庭の要因を私に変えることはできませんが、その子の気持ちを聴くことはできるし寂しい思いは理解することができる。結果的にその子はきついことを言うけれども、いじめをしてやろうとかそんな気持ちは薄らいでいきました。いじめをする心理をよく見ると、心のケアの方向性が見えてくるんじゃないでしょうか。つまり親や家族に愛されている、自分に自信がもてる、困難を乗り越えられると感じている子どもはいじめをしないのです。

虐待をする親の支援はたくさんありますが、いじめる子への支援システムを何らかの形で構築できないか、ということ日々考えています。いじめをしない子の条件が全部揃うのはなかなか難しいかもしれませんが、どれか一つでもできればいいなと思います。虐待というのは親による子どもいじめだと言えます。虐待は将来にいじめを生む。虐待予防の取り組みがいじめ予防につながると思います。

あなたはそのためどんな取り組みができますかということ、今日話をお聴きくださった皆様と考えていただければありがたいと思います。

(文責：広報委員会)

## 新理事のご挨拶



理事 永山 久人  
下津井電鉄株式会社代表取締役社長

令和元年に娘が誕生しました。世間的には孫に近い年齢差の娘です。まだ、世の中にコロナも存在しておりませんでしたので、出産当日は私も分娩室に入室し、娘が生まれてくる瞬間に立ち会いました。いざ出産の時、娘の産声が分娩室に響き渡り、感謝・喜び・希望、大きな感動に私の心は包まれました。と同時に、とにかく元気に大きく育ってくれ、と願うばかりでありました。娘の「いのち」が初めてこの世と繋がった瞬間であります。「いのち」が生まれてくることは、なんて素晴らしいんだ、心から感じたことを鮮明に覚えております。

その娘も、現在で2歳半。毎日元気にスクスクと成長しております。日々、理解出来ること、感じること、彼女にとっては新しい発見と経験、大きな悩みも無く喜びばかりです。娘を見ておりますと、人間の「生命力」の素晴らしさを感じます。

しかし、人は成長していくにつれ、多くの苦難や弊害、人生の壁にぶち当たり、

その「生命力」に衰えを感じる瞬間に見舞われることも少なくありません。その瞬間、自助努力でその壁を乗り越える方、また周りの方のサポートで「生命力」の炎を再度燃え上がらせる方もいるでしょう。ただ、残念ながら自己解決ができない方、周りのサポートに恵まれなかった方は、その「生命力」の炎が小さくなっていく、そんな気がしてなりません。

「いのちの電話」にご連絡いただける方々は、その「生命力」の炎が小さくなってしまった方たち。対応するスタッフの皆様は、その小さくなった「生命力」の炎を、いかに再度燃え上がらせるか、その大切なサポート役であると思います。

ただ生まれてくる、そのことだけで周りを幸せにし、笑顔にできる力が、本来人にはあるはずです。だからこそ、か細くなった「いのちの炎」を、やさしく温かく包む存在が必要なのではないでしょうか。いのちの電話は、これからもそういう「炎を包む」存在であり続けたいと願っております。



はい、岡山いのちの電話です  
あなたも相談員として  
仲間に加わっていただけませんか



ホームページも  
みてね

第39期 相談員募集要項

募集人員	30名程度
応募資格	23歳～65歳程度で、いのちの電話の趣旨に賛同し、活動に積極的に参加できる方。 特に深夜帯に活動できる方を歓迎します。
受講費用	<b>20,000円</b> （1泊2日の宿泊研修を2回分含みます） ※岡山県電話相談支援事業委託により、受講料減額中です。
受講期間	2022年4月7日（木）～2023年3月23日（木）予定 おおむね月3回 木曜日 18：30～20：30
申込手続き	期日内に下記1～4を郵送してください。 1. 決められた申込用紙 2. 「受講動機」と題する作文（A4、800字以内） 3. 「私の生い立ちと今の自分」と題する作文（A4、2000字以内） 4. 申込料1,000円（100円以下の切手でも可）
募集期間	2021年12月～2022年3月5日（土）予定
面接日	2021年3月13日（土）午後予定 場所は別途お知らせします。 （申し込まれた方は面接を受けていただきます。場合によっては受講をお断りする場合がありますのでお含みおきください。）

相談員養成講座募集説明会を開催します

日 時 / ① 2022年1月16日（日）13：30～15：30  
② 2022年2月27日（日）13：30～15：30  
（同じ内容で2回開催します）

場 所 / ピュアリティまきび

※事前申し込みは不要です。どうぞご参加ください。

お問い合わせ

岡山いのちの電話協会事務局（申込先も同じ）

〒700-0972 岡山市北区上中野1-3-5 TEL (086) 245-4344（月～金 10時～17時）

ホームページ <https://okayama-inochi.jp/>

# 半期 活動報告

## 市民公開講座「こころの力」

① 8月15日（日）**藤井 和郎氏**  
 （吉備国際大学心理学部 教授）  
 「再考 “いじめ”」

② 9月12日（日）**小畑 千晴氏**  
 （岡山県立大学 保健福祉学部 准教授）  
 「つきまとう人たちのこころ～ストーカー加害者面談を通じて」



\*多くの団体がズームでの開催の中、会場での開催は評価できるとの感想もありました。

## 第34回 岡山自殺予防シンポジウム

11月6日（土）**長江 由美子氏**  
 （ミチナス代表）  
**西崎 宏美氏**  
 （子どもシェルターモモ専務理事）  
 「寂しさと共に生きる」



※ 多数のご来場ありがとうございました。



2021年

## 事務局日誌

7月20日	岡山県青少年総合相談センター事例研修会（佐野、石原）
8月12日	講師派遣 学校法人本山学園（草苺）
8月15日	市民公開講座こころの力「再考 “いじめ”」 藤井 和郎氏
8月28日	講師派遣 笠岡市PTA連合会（森口）
8月21日	日本いのちの電話連盟理事会（WEB会議）（堀井）
9月5日	講師派遣 倉敷市倉敷南公民館（森口）
9月14日	講師派遣 岡山県立矢掛高等学校（森口）
9月4日	日本自殺予防学会（WEB）（堀井、草苺）
9月5日	第45回日本自殺予防シンポジウム（ZOOM7名他参加）
9月10日	日本いのちの電話連盟新統計説明会（上原、久安、草苺）
9月15日	日本いのちの電話連盟電話相談事業委員会（WEB会議）（草苺）
9月15日	講師派遣 総社市立総社東中学校（牧野）
9月12日	市民公開講座こころの力「つきまとう人たちのこころ」小畑 千晴氏
10月4日	講師派遣 岡山県隣保館連絡協議会（草苺）
10月9日	岡山いのちの電話協会理事会

10月9日	スーパーバイザー部会
10月21日	講師派遣 岡山県立玉野高等学校（森口）
10月25日	犯罪被害者等施策関係職員研修会（草苺）
10月27日	講師派遣 岡山県立新見高等学校（南校地）（森口）
11月1日	日本いのちの電話連盟電話相談事業委員会（WEB会議）（草苺）
11月2日	講師派遣 岡山県立林野高等学校（森口）
11月6日	第34回岡山自殺予防シンポジウム
11月13日	日本いのちの電話連盟理事会（WEB会議）（堀井）
11月14日	講師派遣 倉敷傾聴ボランティアいちごいちえ（森口）
12月2日	講師派遣 倉敷市立倉敷南中学校（牧野）
12月6日	講師派遣 備前市立日生中学校（牧野）
12月13日	岡山市自殺対策連絡協議会（堀井、草苺）

**\*毎月11日はイオン黄色いレシートキャンペーン（店頭活動）**  
**\*毎月10日は自殺予防フリーダイヤル（AM 8:00～翌AM 8:00）**  
**\*毎日FD（PM 4:00～PM 8:00）**  
**\*ナビダイヤル**

# 資金ボランティアになって支えて下さい!!

## <維持会員>

個人	A年額	2,000円
	B	3,000円
	C	5,000円
	D	10,000円
団体	一口	10,000円 何口でも

## お振込先

郵便振替 01260-4-15857  
岡山いのちの電話  
銀行振込 中国銀行大元支店  
普通預金 1223257  
社会福祉法人岡山いのちの電話協会  
理事 堀井茂男

## <賛助会員>

折々に自由な金額でご寄付下さる方。  
お誕生、お香典返しなど折々に頂けると幸いです。

## <寄付金控除について>

- 法人は、「特定公益増進法人」への寄付金として、一定金額内で損金算入ができます。
- 個人は、「特定寄付金」として、支出寄付金額から2,000円を控除した金額と総所得金額の40%の少ない金額の範囲内で寄付金控除の対象になります。  
また寄付をした翌年1月1日に岡山市に在住の方は住民税の寄付金税額控除が受けられます。

## 「幸せの黄色い レシートキャンペーン」

毎月11日は「幸せの黄色いレシートキャンペーン」です。投函レシート額の1%のギフトカードが寄付されます。イオン岡山のかマルナカ下中野店で「岡山いのちの電話」に投函をお願いします m(..)m

## 共同募金

「ささえあいプロジェクト」にご協力を。

挟み込んである専用振込用紙を用いて、2022年1月1日～2月28日に郵便局窓口にて、お振り込みください。

割増金を加算され「岡山いのちの電話」の新年度活動費として給付されます。期間内限定で1円からでもご寄附いただけますので、ご協力をよろしくお願いします。

講師派遣をご依頼ください。

ゲートキーパー研修、人権教育、いのちの授業に「岡山いのちの電話」が講師派遣します。お問い合わせは事務局まで。



## 相談電話

24時間年中無休

岡山いのちの電話 (086) 245-4343

毎月10日8時～11日8時まで (通話料無料)

フリーダイヤル (0120) 783-556

毎日16時から21時まで (通話料無料)

毎日フリーダイヤル (0120) 783-556

24時間年中無休 (通話料有料)

ナビダイヤル (0570) 783-556

発行 社会福祉法人 岡山いのちの電話協会

発行者 堀井茂男

編集 岡山いのちの電話協会広報委員会

事務局 岡山市北区上中野1-3-5

TEL 086-245-4344

FAX 086-245-7743

ホームページ <https://www.okayama-inochi.jp>



赤い羽根共同募金「ささえあいプロジェクト」の助成金をいただいています。